

平成21年度第1四半期「景気動向調査」結果報告

製造業・非製造業ともに景気動向は底打つも、厳しい状況が続く

コメント：【製造業】

経済全体の景気動向予測においては昨年同期比と比較すると大幅な回復が見られたものの、業界予測においては若干回復するに留まり、厳しい見方をされている。

売上(出荷)高・景況感では、対三カ月前比項目において大幅なDI値の回復が見られ今後、回復傾向に転じるか否か注目される。

しかし、対前年比項目では売上(出荷)高で4.5ダウンし調査開始(平成16年2月)以降、最低位DI値を記録した他、景況感でも10.6回復するもDI値は▲74.2と依然低位水準であり、今回調査では景気の底上げとまでは行かなかった。

設備投資計画では、32.3%が「予定あり」と回答され、設備投資目的については「省力化」が最も多く、次いで「設備更新」となっておりコスト削減意識の高さがうかがえる。

【非製造業】

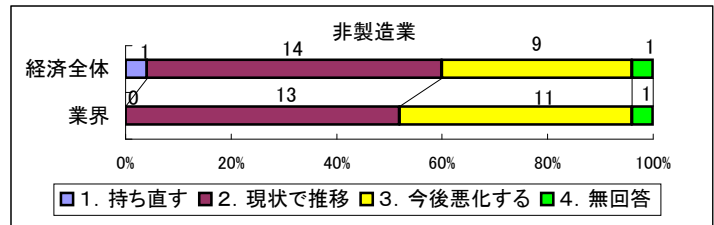
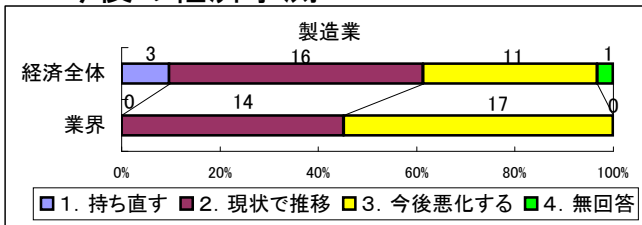
今後の業界景気予測では昨年同期比と比較すると大幅に回復(30.5上昇)したものの、業界予測においては製造業同様に若干回復するに留まり、厳しい見方がされている。

売上(出荷)高・景況感の対三カ月前・対前年比のいずれの項目においても、前回DI値から回復した。対三カ月前比の回復感と比べて対前年比項目では、DI値が依然▲60超であり、今後の動向調査結果で回復基調に転じていくか否か注目される。

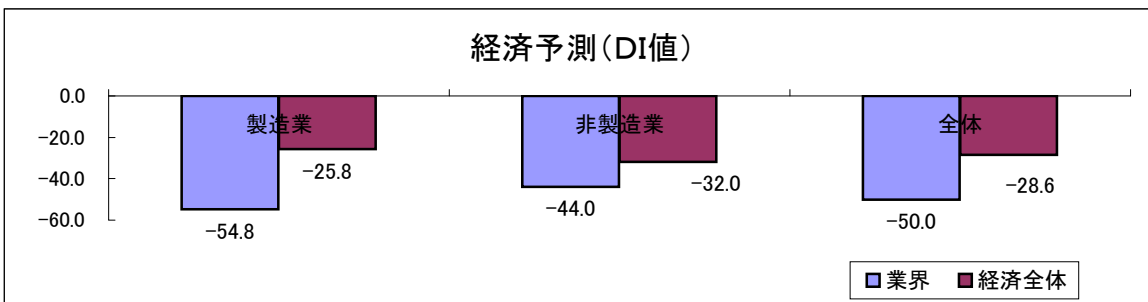
縮小傾向が続いていた設備投資計画では12.0%が「予定あり」と回答され前回調査より5.1%増加した。設備投資目的では「設備更新」に次いで、「生産力・販売力増加」の回答が得られた。

A. 調査結果

1. 今後の経済予測



DI値	業界	経済全体	業界(前回)	経済(前回)
製造業	-54.8	-25.8	-	-
非製造業	-44.0	-32.0	-	-
全体	-50.0	-28.6	-	-



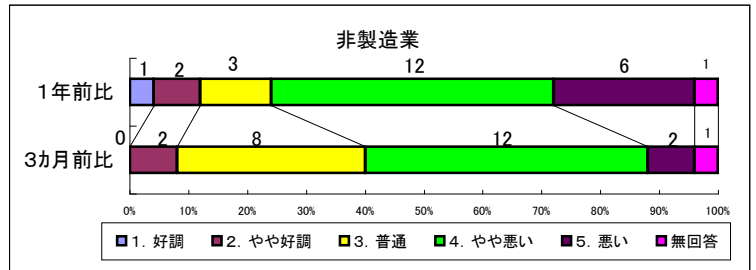
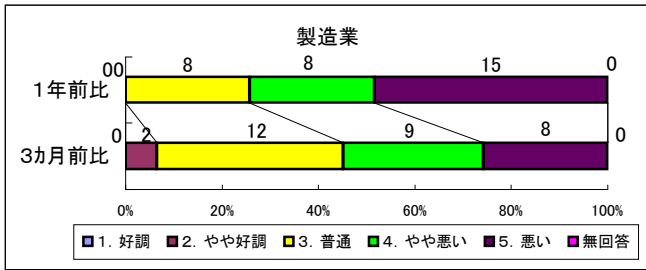
※百年に一度と言われる不況の中で、平成20年5月以降調査を行なっていなかった本調査項目を当面の間復活。

今後の業界景気予測において、製造業のDI値はマイナス54.8ポイント(以下、DI値のマイナス値は▲印、ポイントは省略)、非製造業では▲44.0。

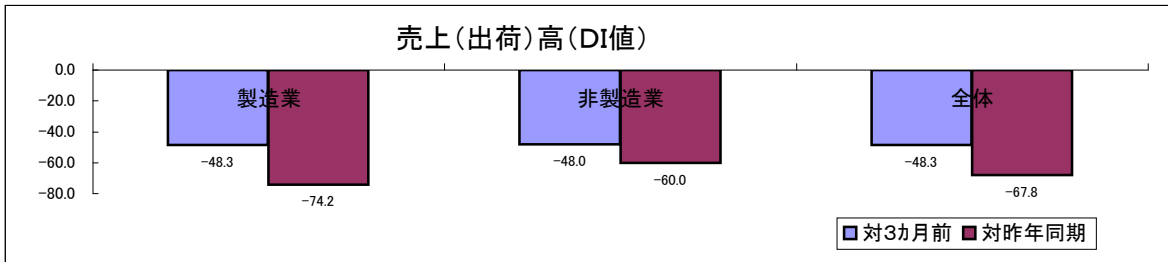
経済全体の景気予測において製造業のDI値は▲25.8、非製造業では▲32.0。

経済全体予測では対昨年同期調査と比較すると、製造業で29.8、非製造業でも30.5とDI値が大幅に回復したものの、業界予測では製造業で4.5、非製造業でも6.0回復するに留まり、自社業界に関しては厳しい見方をされている。

2. 売上(出荷)高について

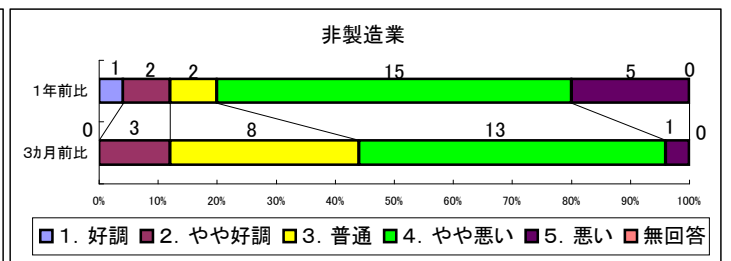
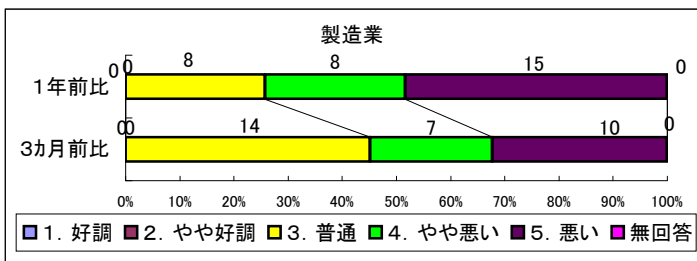


DI値	対3カ月前	対昨年同期	対3カ月前 (前回)	対昨年同期 (前回)
製造業	-48.3	-74.2	-72.7	-69.7
非製造業	-48.0	-60.0	-65.5	-65.5
全体	-48.3	-67.8	-69.4	-67.7

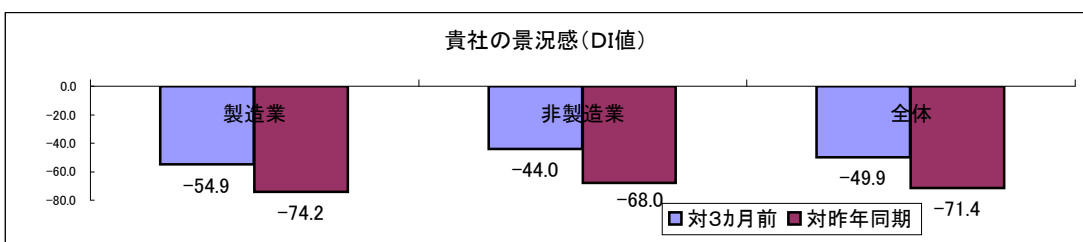


対三カ月前比では製造業で24.4、非製造業でも17.5回復した。
 対前年比では製造業で4.5ダウンも、非製造業では5.5回復。
 対三カ月前比では両業種とも大幅な回復が見られた。対前年比では製造業においては調査開始(平成16年2月)以降最低位のDI値となり、回復を見せた非製造業においても最低位DI値を記録した前回のDI値を5.5回復するに留まり、両業種とも景気の底上げとまでは行かなかった。

3. 貴社の景況感について



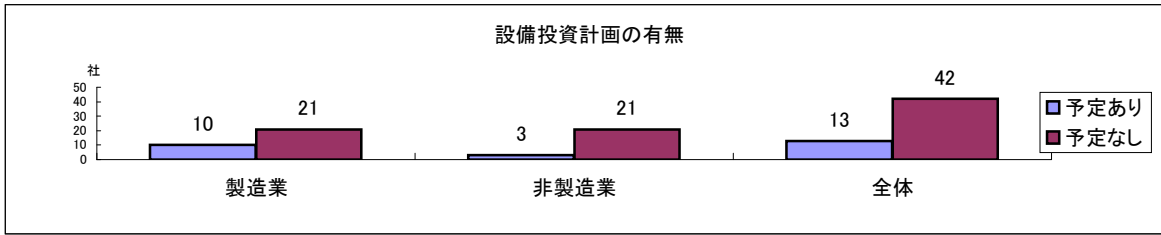
DI値	対3カ月前	対昨年同期	対3カ月前 (前回)	対昨年同期 (前回)
製造業	-54.9	-74.2	-75.8	-84.8
非製造業	-44.0	-68.0	-75.9	-79.3
全体	-49.9	-71.4	-75.8	-82.3



対三カ月前比では製造業が20.9、非製造業でも31.9回復。
 対前年比では製造業が10.6、非製造業でも11.3回復した。
 売上(出荷)高同様に対三カ月前比項目では、両業種とも前回調査から大幅な回復が見られた。
 一方で、対前年比項目においても両業種とも回復しているものの、▲DI値が70前後と依然低位水準であり今後、本格的な回復基調に転じていくか否か注目される。

4. ①設備投資計画について

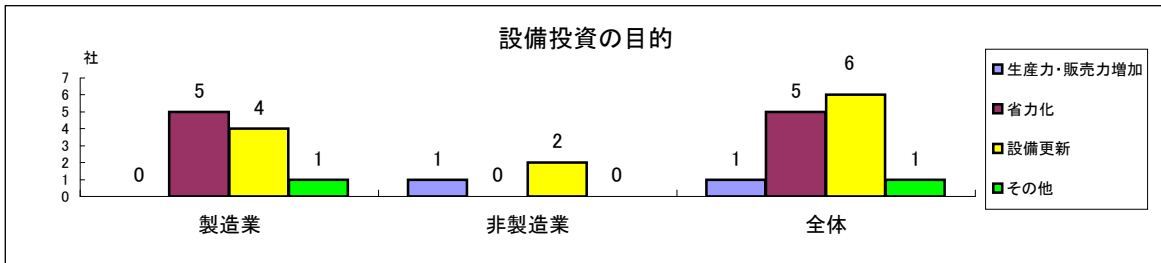
	予定あり		予定なし		無回答		合計	
	社数	割合	社数	割合	社数	割合	社数	割合
製造業	10	32.3%	21	67.7%	0	0.0%	31	100.0%
非製造業	3	12.0%	21	84.0%	1	4.0%	25	100.0%
全体	13	23.2%	42	75.0%	1	1.8%	56	100.0%



製造業では約32%、非製造業では約12%が設備投資を計画している。
前回調査より製造業では8.1%、減少傾向にあった非製造業でも5.1%増加した。

4. ②設備投資目的について

	生産力・販売力増加	省力化	設備更新	その他	合計
製造業	0	5	4	1	10
非製造業	1	0	2	0	3
全体	1	5	6	1	13



製造業の投資目的は「省力化」、「設備更新」が多く、非製造業では「設備更新」が多い。製造業では「省力化」の回答が最も多いことからコスト削減の意識の高さがうかがえる。

B. 調査概要

1. 調査目的 四半期ごとに景気動向調査を実施し、管内景況を恒常的に把握する。
調査を実施し恒常的に管内景況を把握する。
2. 調査期間 平成21年4月27日～5月1日
3. 調査方法 FAXにより依頼、回答
4. 調査対象 各部会役員 125社

※DI値＝「好調＋やや好調」(持ち直す)の回答割合から「悪い＋やや悪い」(悪化する)の回答割合を差し引いたもの。数値が高いほど景況感が良く、低いほど悪い。
プラス100が最高値、0が平均、マイナス100が最低値を示す。

5. 標本数

	調査対象
一般工業	23
建設業	15
醤油工業	4
食品工業	10
皮革工業	16
公益業	15
サービス業	9
理財	8
商業	25
合計	125

	調査対象	回答	回答
製造業	68	25	36.8%
非製造業	57	31	54.4%
合計	125	56	44.8%
未回答		69	55.2%

